

栄町見聞録

第184号



執筆発行 栄町議会議員
野田 泰博 (立憲民主党)
栄町安食台1丁目8番7号
メール yasuda8760@gmail.com
tel 0476-95-3665



報告 6月2日

「太陽の蓋」上映会開催 福島原発メルトダウンの実態映画化

6月2日(日曜日)の上映会には印西市、鎌ヶ谷市、佐倉市、酒々井町、白井市、富里市、千葉市、船橋市、柏市、栄町の一般市民と映画を作成した橋本義氏、当時総理大臣だった菅直人氏、立憲民主党中央の宮川伸衆議院議員総勢320名が参集。「太陽の蓋」の映画を鑑賞し、討論会が行われた。観客との質疑応答は白熱した。

映画の感想(抜粋)
河合弘之(弁護士)
本当に日本は崩壊寸前だった。どこかで誰かがギリギリの歯止めをかけた様子が具体的だった。
室井佑月(作家)
私たちはいつの間にか受け入れていたが、そこがもつとも恐ろしい。
樋口健二(ラオトジャーナリスト)
国民を欺いたリアリテイーとアクチュアリーテイーを見事に描き出した歴史の啓蒙映画だ。必見である。
松尾貴史(俳優)
テレビでは伝えられないことも多々...
鳥越俊太郎(ジャーナリスト)
まだ何も終わってないんです。原発で働く若者が叫ぶシーン。言葉が胸に重たく響く。
水野誠一(Finke Earth 理事長)
その記憶は早くも風化し始めている。この映画は臍げな記憶を鮮明に蘇らせてくれる。
大谷明宏(ジャーナリスト)
どこに行ったら普通に暮らせるの?
(二部映画感想抜粋)

6月定例会議。町長不在(病欠)・副町長が職務代行 全議案可決で終了 6月定例会議の主な議案は 1 バス会社問題、2 消防組織再編成、3 消費税(10%アップ)

岡田町長の様子

岡田町長が体調不良で、入院、手術(心臓弁)となつた。手術は問題なく修了。7月には通常勤務を開始。皆に迷惑をかけて申し訳ないと言っていた。町長の仕事は激務。これからも元気に無理なく激務を続けて欲しい。

交通問題・安食駅・竜角寺台までの路線バスが問題

昨年度の赤字を栄町で補填してほしいとバス会社から要請があった。民間企業は赤字を続けると継続はいつか難しくなる。町営でバス事業ができれば、民間会社との妥協点を見つけてあげなければならぬ。高齢化、バス利用者減少、利便性問題、問題山積みである。

(問題点)

龍角寺・安食駅線、買い物バス、布鎌線バス、成田イオン行休日バス、循環バス、新規路線バスなどいくつも問題点がある。今が正念場。町長の帰還を問題が待っている。

(背景)バス会社の過酷な運行での事故を防ごうと、運転手やバス会社の「働き方改革」、来年の東京オリンピックや地方のバス路線見直しで運転手不足となり皺寄せがやって来た。栄町は団塊世代の自家用車手放しが進み、これからのような策を講じるのか大きな視点で次の一手を打たねばならぬ

この町にあっては、議会も町民の要望と町の事情を汲み取り、解決していくのが仕事。町長の心臓をいたわりながらも町民の要望に近づけねばならぬ。

広域消防組織再編

昨年栄町消防は印西市との広域消防事業を模索したが失敗。昔は国も小自治体でも消防本部を持つようにさせていた。栄町もスーパー堤防が出来た時、いち早く栄町消防本部にした。しかし、思

ったように町民人口は伸びず、反対に減少し始めた。何とかして人口増の施策を打つが、簡単に人口は増加しなかった。これは栄町だけの問題でない。県も気がつき、うやく本腰をあげて県とし

幼児教育、無償化

町内にある0〜5歳児の保育・幼稚園施設、認可外保育施設は上限があるものの原則無料になる。全て一律に無料ではなく、子供の状況、育児施設環境によって変わる。一人一人の違う多様性を認識の上、対応が必要となる。一時預かり、病後児童や保育、障害児発達障害支援も含めてきめ細やかな対応が求められる。食費、第3子以降の子供など多数の制限が出てくる。職員は大変だが、まさに多様化の時代だ。

安食台小のグラウンド整備

国の交付金不採択で来年度事業となつた。

房総の村テニスコート整備

国が不採択。来年度再度申請。

鎌ヶ谷・本埜バイパス遅延

軟弱地盤問題で2年遅延。日医大にすぐにバスで行けない。

今年3月「太陽の蓋」フランス各地で大好評

この映画の制作者橋本氏がフランスの映画界から依頼を受け、フランス各地で約1ヶ月間、上映会を行った。各地の映画館での上映会は連日超満員で、日本の事故の実態を皆知りたがっていたとのこと。

(説明)フランスはヨーロッパの原発大国。電気エネルギー輸出大国。米国に次ぐ原子力エネルギー生産国。発電電力量の80%を原子力が占めている。オランダ元大統領は減原発エネルギー政策を掲げたが、周辺諸国が減原発エネルギー政策をとり、反対にフランスは原発電力を大量に輸出ができ、減原発政策はフラフラしている状態。

事故が収束できなかった場合の強制移転区域と移転希望を認める区域(菅さんから頂いた資料・全員に配布)



著者の指示で近藤駿介原子力委員長が試算し作成した(H23.3.25)、「福島第一原子力発電所の不測事態シナリオの素描」を基に地図を作成。菅直人「福島原発事故 総理大臣として考えたこと」2012.10.25

岩井県議が公開した学位記とプロフィールに記載している学歴は違う

1 選挙後の裏話で大学院の学位を明かす？

「いわちやんポスト114号」で岩井氏が選挙裏話として大学院学位を公開した。誉ある大学院の学位を選挙後の裏話として公表する神経が分からない。「いわちやんポスト」で毎号の表面に2013年から6年間もの間、早稲田大学政治学研究所もしくは修了とだけ公表。サラリーマンなら会社の名刺を差し出すとき必ず表面に本人の名前、会社名、役職も書いてある名刺を渡す。その役職が学位にあたる。6年間も公表していた「早稲田大学院政治学研究所修了」は学位ではない。どこで学んだかというだけのこと。

今回分かったことは岩井氏の学位は「公共経営修士(専門職)」であった。専門職修士課程は下表でもわかるように早稲田大学の専門職学位課程、標準修業年限1年の公共経営大学院で授与された学位だ。ならば、プロフィールは公共経営大学院修了(専門職)と正式な書き方で表明すれば良い。岩井氏の学位発行の日時はハズキルーペでも見えない。

いわちやんポストには、2013年3月から早稲田大学院政治学研究所と書いていた。2015年2月からはそれに修了がついた。年限1年なのに2年かかったのだらうか？岩井氏の公共経営修士課程は実務経験3年と推薦状と面接で入学でき、しかも1年間で修士を取得できる大学院だ。しかし学費は年間220万円はちと高い。早稲田大学院には50以上のコースがあるが、その中でも一、二を争うほど高い。

同じ院でも政治学専攻の場合は、安いが修士は2年必要で、英語TOEIC(話す、読む、書くコミュニケーション能力)700点以上が要求される。岩井氏の出た大学院は試験がない代わり高い。便利な時代になったものだから、それだけ自分に投資して頑張ったのだから、褒めてあげたいところだったのに。

2 見聞録発行28年目にでっち上げと非難された

岩井氏が2003年10月頃我が家を訪ねてきた、「栄町見聞録は素晴らしい。野田さんと是非一緒に栄町を変えたい。」と熱く語ってくれた。塾の講師をしていた。私と同じようにサラリーマンをしながら議員を目指すと言う。私は次の選挙に出たらと勧めた。4ヶ月後に当選。私もフルに応援した。当選すると1ヶ月後に私の家に来て、次は県議を目指すと言った。啞然として、町民の皆さんのためと言って当選したのだから、それを言っちゃダメとたしなめた。

今回栄町見聞録を他市にまき、私が岩井氏の中傷をしていると書かれた。

見聞録は5千枚を私と妻と友人で各戸配布、5千枚は新聞折込なので他市に配布する余裕は全くない。ただ幾人かの他市の友人が見聞録は面白い、特に原発問題は的を得ているので配布したいと言っていた。私は栄町出身の岩井氏の選挙違反行為を他市にばら撒くなんてあまりにも恥ずかしくてできるわけがない。選挙違反は絶対にするなど言っていた私が他市に岩井さんの違反を言えるわけがない。

岩井氏を院で指導した先生は私も尊敬する北川正恭先生(元三重県知事)とのこと。良い先生に当たってよかったねと安食の駅で話したことがあった。北川先生は厳格で、例えポスターであろうと違反は許さない方。岩井氏は4年前も今回も違法ポスターは千葉県選管、栄町選管から最多の注意を受けている。

岩井氏と同じ時期に同じ大学院で学ばれた某氏(今は政治家)の公表している経歴は、某氏の卒業した母校の大学名、学部、卒業年度、そして早稲田大学公共経営大学院修了と記載し、資格・公共経営修士と正確に記載していた。岩井氏も自分の卒業した大学や修了した大学院ぐらいいは正しく書くべき。

栄町見聞録を褒めたのは私を利用するためだと知ったのはずっと後だった。

(岩井氏は私がでっち上げというが、議員は人を惑わすような誘導せずに、努力の証の学歴は正直に公表したらいいのかな？)

2013年早稲田大学大学院の政治学研究科組織とコース及び学位

課程	専攻	コース	定員	学位
修士課程 ・標準修業年限 2年	政治学専攻	政治学コース	40	修士(政治学)
		国際政治経済学コース	10	修士(国際政治経済学)
		ジャーナリズムコース	60	修士(ジャーナリズム)
専門職学位課程 2年制:標準修業年限2年 1年制:標準修業年限1年	公共経営大学院 (公共経営専攻)	岩井氏の学位からすると —	50	公共経営修士(専門職)
		専門職はこの欄のみ。	修士取得範囲と思われる	
博士後期課程 ・標準修業年限 3年	政治学専攻	政治学コース	20	博士(政治学)
		国際政治経済学コース		博士(国際政治経済学)
		ジャーナリズムコース	10	博士(ジャーナリズム)

参考資料 早稲田大学ホームページ



右の学位記はいわちやんポスト114号よりは転写(ボヤけていた)はボヤけた写真を転写したから)

犬、猫、トランプ、金正恩

私は子供の頃から犬と猫が好きだった。我が家の今の愛犬はトイプードル。一緒に暮らしてお互いの散歩は欠かさない。今朝も家の近くの緑道を愛犬と散歩。そんな愛犬が好きなのは猫。猫に出会うと鼻声でフンフン、キューンなんて声をだし、後ろ足2本で立ち上がり、両手を胸の前でおるようにして飛び跳ねながら近づこうとする。大概の場合は、我が愛犬が近づくと距離は1メートル。猫ちゃんには我が愛犬との国境線と距離を決め、それ以上近づいてくると「フン」とバカにしたように後ろを向いてゆっくり振り向きもせず立ち去る。リードに繋がれていて犬が飛びかかることなど絶対ないと安心しきって、お尻をフリフリして離れていく姿には感心する。

この一連の仕草は今朝どこかで見たような気がしたが思い出さなかった。散歩から帰宅し新聞を開くと、一連の姿は朝の新聞に掲載されていた。北緯38度線の板門店国境線でデートをしたトランプ米大統領と金正恩氏だ。これは世界中のメディアの目を釘付けにした。おかげで安倍首相は大阪サミットの話題を半日でさらわれた。

北緯38度線上デイトは突然に行われたと言っているが、世界中に見せつけた公開デイトだ。トランプの本当の狙いは大阪G20の後の北緯38度線のデイトだったのだ。安倍さんは大阪城にエレベーターを作ったのは間違いなどのウケを狙ったジョークでひんしゆくを買った。トランプ氏の北緯38度線上デイトも誰にも知らせず、誰も予測していなかった。デイトが好きなトランプ氏と金正恩氏二人が日本など鼻も引っかけずに、「お・も・て・な・し」の言葉に酔っぱらっている安倍さんと日本を歯牙にもかけずただ利用しただけだ。その象徴が大阪G20で採択された「大阪ブルーオーシャンビジョン」。この言葉を海洋プラゴミの汚染をなくそうという意味にしてしまった。本来ブルーオーシャンとは、強豪相手がいない領域を切り開こうという意味の経済用語。反対言葉はレッドオーシャン(血で血を洗う競争の激しい領域)。聞き方によれば、海には強豪関係がないからほとんど切り開こうという意味になる。でもこれで日本は放射能汚染水を海に撒く計画はできなくなった。良いことだ。ただ赤土は沖繩の海を汚しているが...